

人口減少を抑え、
年齢構成のバランス悪化を緩和

健幸まちづくりの
さらなる推進

基本目標

1 多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる

2 まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす

3 多摩市で産み、育てたいと思えるまちをつくる

4 ひとりでも安心して幸せに暮らし続けられるまちをつくる

多様な人材の活躍を推進する

新しい時代の流れを力にする

横断的な目標

多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる

<数値目標>

項目	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)	達成 (+205法人)
法人均等割納税義務数	3,767法人	3,862法人	4,067法人	

■ 企業立地の維持・促進



企業立地促進条例に基づき、本市に企業を呼び込むため、一定の要件を満たす企業に奨励金を交付(9社の指定実績)

現在、市内にビジネス・観光等で訪れる来街者の「宿泊機能」確保のため、条例改正により宿泊施設の誘致を強化



■ 「健幸まちづくり」の取組



40歳を機に、自身の身体や生活を振り返る健幸啓発情報誌「for40」の発行



働く人の健康と幸せのため「健幸!ワーク宣言企業」(登録42社)の交流会、紹介動画、メルマガ等を通じ、健幸的な働き方を推進

■ 各種計画の策定



◀ 産業振興マスターplan (2025年3月策定)

ビジネスの場、働く場として選ばれるまちであるため、中小企業支援、創業支援、就労支援等の推進

都市計画マスターplan▶ (2025年3月改定)

聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅・永山駅の3駅周辺や、全線4車線化の整備が進んでいる南多摩尾根幹線沿道のにぎわい創出、市内5地域のまちづくり方針などを設定



まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす

<数値目標>

数値目標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)
①20～29歳の転入超過人口 (5年間累計・日本人のみ)	△868人 (平成27～令和元年)	△500人 (令和2～6年)	△758人 (令和2～6年)
②30～49歳の転入超過人口 (5年間累計・日本人のみ)	623人 (平成27～令和元年)	1,000人 (令和2～6年)	1,214人 (令和2～6年)

達成に至らず
(△258人)
達成
(+214人)

■ シティセールス

くらしに、
いつも
NEWを。



◀ 市制施行 50 周年を機に未来を描くブランドビジョン「くらしに、いつも NEW を。」を設定。2024 年は「とかいなか」をコンセプトに、豊かな子育て環境をPRする交通広告を都心部に掲出



市内産アスピラガスを使用したクラフトビール

■ 聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり

せいせき
カワマチ
Seiseki Kawamachi



◀ 多摩川河川敷での「せいせき力ワマチ」は、国土交通大臣から「かわまち大賞」を受賞

■ 多摩センターまちづくり社会実験

「芝生やイスがあるくつろぎ空間」など、様々なまちの使い方、過ごし方のアイデアを形にする社会実験を実施



■ アイスランドとの交流

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンを契機に、交流が進む



◀ ナイトタイムの賑わい創出に向けたプロジェクトマッピング(多摩センター)



▶ 観光まちづくり交流協議会による食の魅力づくり「アイスランド風まちバル」

<数値目標>

数値目標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)
年少人口	17,258人 (令和2年1月1日)	1,000人減に留める	15,176人 (令和7年1月1日)

達成に至らず
(△2,082人)

■ 「たまこどもフェス」の開催



2024年に永山で初開催し1万人以上が参加。イベント、幼稚園・保育所情報、子育て相談等を通じ、優れた子育て環境を発信

■ 「こどもまんなか社会」に向けた取組



他市に先駆けて取り組む「こども誰でも通園事業」の拡充。こども家庭センターを聖蹟桜ヶ丘の健康センター内に開設し、妊娠期から継続した相談支援の実施

■ 子どもみらい会議



SDGsの達成に向け、中学生から数多くの提案が発表。市としてできることから着手

■ 多摩中央公園グランドオープン

2025年4月にグランドオープン。中央図書館・パルテノン多摩とともに、大型遊具のあるインクルーシブな広場など誰もが楽しめる公園に



放課後子ども教室の週5日実施校を拡大。学童クラブの待機児童が多く生じている2校で新たに開始



■ 多摩市若者会議

若い世代の参画の更なる推進と、若い世代のアイデアを反映したまちづくりの推進のため、「多摩市若者会議」を開催。会議から出たアイデアの実践に取り組む



<数値目標>

数値目標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和6年度)
65歳健康寿命 (東京保健所長方式・要支援1以上)	男性:82.79歳 女性:83.97歳 (平成30年)	男性:83.89歳 女性:84.37歳 (令和5年)	男性:82.81歳 女性:84.31歳 (令和5年)

目標値へ近づいたものの、
達成には至らず

■ ニュータウン再生



団地の大型再生
(UR諏訪団地
では先行区の建
替えが2025年7
月竣工予定)

インスタグラ
ム等による魅
力発信 (移住
のたま子さん)



■ 実証実験のフィールド提供



移動の不安解消に
向け、内閣府の
「戦略的イノベー
ション創造プログラ
ム (SIP)」と
協力した自動モビ
リティサービス実
証実験

多摩センターの
青木葉通りで東
京都と連携し、
自動運転バスの
走行実験



■ 多世代共生型のコミュニティづくり



府内の若手職員による
協創サポーターの配置。
地域のイベントで顔の
見える関係をつくり、
コミュニティの再生に
向け、地域活動を応援

■ 買い物支援(京王ほっとネットワーク移動販売)

平成25年～京王電
鉄株式会社と多摩
市の包括連携協定
に基づく、市内で
買い物が困難な地
域等での移動販売

